

こんな体験ありませんか？



車間距離が足りなくて
もう少しで、前のクルマと
ぶつかるところだったの。



自転車のブレーキを
かけるのが遅くて、クルマと
ぶつかりかけたんじゃ。



60歳からの かしこいクルマの 使い方教室の開催

これからの
生活の“足”を
一緒に考えて
みませんか？

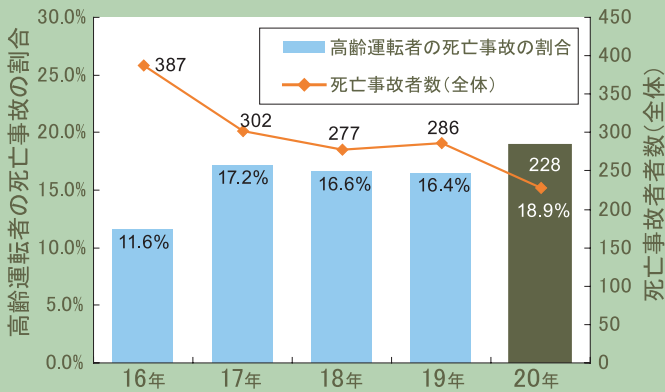


- 開催時期:みなさんのご予定の合う日に設定いたします。
(2月下旬まで)
- 開催場所:公共施設もしくは、高齢者クラブの会場場所に
伺います
- 費用:無料
- 定員:各会場30名程度
- 主催:当別町役場企画課

お問合せ:当別町役場企画課 電話23-3042

60歳からのかしこいクルマの使い方教室の開催

近年、人口減少や都市構造の変化に伴うマイカー利用の増加により、高齢者ドライバーによる事故が増加しており、大きな問題となっています。



北海道の高齢運転者事故死者数
引用：北の交差点Vol.25 SPRING-SUMMER2009, p17-19

一方、マイカーを運転できない高齢者や児童にとって、公共交通はなくてはならないものです。今後、高齢化が進むことにより、その必要性は増すものと考えられています。

こうした背景から、当別町では、平成18年度より、官民協働による当別町コミュニティバス(ふれあいバス)の運行を始めて

います。町ではこれまで、ふれあいバスの利用促進のため、ニュースレター(とうべつバス通信)の継続的な発行や、バスまつり、町内小学校における「交通と環境の学習」等を実施してきました。

今年度は、小学生だけでなく、地域の住民や高齢者の方々にも、地域の公共交通やそれに関係する社会問題について広く、深く学んでいただくことにより、ふれあいバスの利用促進につなげたいと考えています。



そこで、これからの生活の「足」を一緒に考える「かしこいクルマの使い方教室」を開催させていただきたく、ご検討をお願い致します。

[開催内容]

●時間/60分

●プログラム内容

1.かしこいクルマの使い方について

- (1)クルマと交通事故の話～「こんな時は運転に注意しよう!」
- (2)クルマと健康の話～「足腰は健康のもと、歩くことが大切です」
- (3)クルマと費用の話～「クルマは1日にいくらかかっているでしょう?」
- (4)クルマと環境の話～「一人を1km運ぶために出るCO2の排出量は?」
- (5)かしこいクルマの使い方について

2.自転車の危険性について

- (1)増えています!高齢者の自転車事故～「こんな運転に気をつけよう」

3.当別ふれあいバスについて

- (1)当別ふれあいバスの概要
- (2)環境にやさしい当別ふれあいバス
- (3)当別ふれあいバスの利用方法

